

平成 17 年 3 月 29 日
日本原燃株式会社

六ヶ所再処理工場のしゅん工時期等の変更について

1. はじめに

昨年 12 月 21 日より再処理工場においてウラン試験を開始しておりますが、ウラン試験開始後に検討を行うこととしておりました再処理工場の使用済燃料による総合試験（以下、「アクティブ試験」という。）期間及びしゅん工時期について、検討結果がまとまりましたのでご報告いたします。

2. しゅん工時期等について

現行の再処理工場の工程は、しゅん工時期を変えずに、ウラン試験開始時期を実態に合わせて変更してきたものであり、結果として、アクティブ試験期間は約 7 ヶ月となっております。アクティブ試験期間については、ウラン試験開始後に検討することとし、それまではウラン試験開始に向けて全力で取り組む方針とし進めてまいりました。

現在、平成 16 年 12 月のウラン試験開始から 3 ヶ月が経過し、試験がほぼ順調に進んでおり、今後の試験工程が見通せる状況となっております。これを踏まえ、このたびアクティブ試験期間を平成 15 年 9 月に公表した期間と同じく約 17 ヶ月とすることといたしました。

これに基づき、次のとおり工程を変更いたします。（別紙 1 参照）

① 現行工程

しゅん工：平成 18 年 7 月（アクティブ試験期間：約 7 ヶ月）

② 変更工程

しゅん工：平成 19 年 5 月（アクティブ試験期間：約 17 ヶ月）

3. 建設工事費について（別紙1参照）

今回の工程変更に伴う影響額は、約 500 億円程度の増加と見込んでおり、建設工事費は「2 兆 1,400 億円」から「2 兆 1,900 億円」に変更いたします。

（内訳）直接工事費	1 兆 7,400 億円	→	1 兆 7,500 億円	（100 億円増）
間接工事費	4,000 億円	→	4,400 億円	（400 億円増）

4. 使用済燃料の受入れ及び年間再処理量について（別紙2参照）

今回の工程変更に伴い、「使用済燃料の取得計画及び予定再処理数量」についても見直しました。

（1）使用済燃料の受入れについて

使用済燃料の受入れ計画は、年間再処理量 800 トンとなる前年度末（平成 22 年度末）までに、使用済燃料の貯蔵量として約 2,600 トンを確保する計画としております。

（2）年間再処理量について

平成 19 年 5 月のしゅん工後は、年間再処理量 800 トンに向けて、これまでの計画同様、段階的に再処理量を増やしていくこととしており、年間再処理量 800 トンとなるのは、平成 23 年度と計画しております。

当社といたしましては、引き続き安全確保と品質保証を最優先に試験運転・操業に取り組んでいくとともに、今回の工程変更に伴う建設工事費の増加につきましては、総事業費へ影響を来すことがないよう、今後の経営努力によって吸収してまいります。

以 上

再処理施設の工程及び建設工事費の変更経緯

	平成 11 年 4 月変更	平成 15 年 9 月変更	平成 16 年 11 月変更	今回変更	増加額
アクティブ試験開始時期	平成 16 年 7 月 (試験期間約 12 ヶ月)	平成 17 年 2 月 (試験期間約 17 ヶ月)	平成 17 年 12 月 (試験期間約 7 ヶ月)	同左 (試験期間約 17 ヶ月)	—
しゅん工時期	平成 17 年 7 月	平成 18 年 7 月	同左	平成 19 年 5 月	—
建設工事費	2 兆 1, 4 0 0 億円	—	—	2 兆 1, 9 0 0 億円	5 0 0 億円
(直接工事費* ¹)	(1 兆 7, 4 0 0 億円)	—	—	(1 兆 7, 5 0 0 億円)	(1 0 0 億円)
(間接工事費* ²)	(4, 0 0 0 億円)	—	—	(4, 4 0 0 億円)	(4 0 0 億円)

* 1 : 直接工事費 : メーカーや建設会社と契約する土木、建物、設備等の発注額および試験運転に直接要する費用

* 2 : 間接工事費 : 人件費、諸経費、建設中利子

使用済燃料の取得計画及び予定再処理数量

(単位：t・U_{pr})

年度	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
取得計画	8	24	96	340	312	0	527	575	550	550	600	800	800	800
予定 再処理数量								34	358	326	467	627	787	800
貯蔵量	8	32	128	468	780	780	1307	1848	2040	2264	2397	2570	2583	2583

注：・t・U_{pr}は照射前金属ウラン質量換算です。

- ・1998（H10）年度から2003（H15）年度までは実績値です。
- ・貯蔵量は輸送容器（キャスク）に収納されている使用済燃料も含みます。

(参考)

平成15年9月に公表した計画

(単位：t・U_{pr})

年度	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
取得計画	8	24	96	340	312	116	500	500	800	850	850	800	800
予定 再処理数量							30	270	350	480	640	800	800
貯蔵量	8	32	128	468	780	896	1366	1596	2046	2416	2626	2626	2626

注：t・U_{pr}は照射前金属ウラン質量換算です。

貯蔵量は輸送容器（キャスク）に収納されている使用済燃料も含みます。